

議会だより みなかみ



火樹銀花

幸多き一年と
なりますように

令和5年(2023年)
1月15日発行

73号

特集

中学生議会開会

12月定例議会

第5回 中学生議会開会	2
本会議審議内容及び結果	4
臨時議会(11月)	6
一般質問	7
活動報告	15



バックナンバー
が見られます。



群馬県利根郡みなかみ町

第5回 中学生議会開会



11月17日、議場にて中学生議会が開会されました。みなかみ中学校3年生の代表生徒8人が一般質問を行いました。

通 告 一 覧

北山 瑠那 きたやま るな
みなかみ町にある物を最大限に活用する方法について

萩原 歩佳 はぎわら ほのか
町内の道路整備について

矢島 実紅 やじま みく
町の医療の質を高める取組について

小野 湊斗 おの みなと
交流の場を提供する交流型移動スーパーの事業の活性化について

西山 太智 にしやま たいち
みなかみ町の観光・移住推進の取組について

笛木 胡乃香 ふえき このか
旧中学校の校舎を活用した観光スポットについて

林 勇羽 はやし ゆうわ
みなかみ町を子育てしやすい町にするための公園の増設について

阿部 海鈴 あべ かいり
町に必要と思われる子育て支援について



リハーサルの様子



いよいよ開会です



「はい 議長」



気になることはメモ



町長答弁



たくさんの答弁書



休憩中

質問が終わった～



休憩中

緊張…

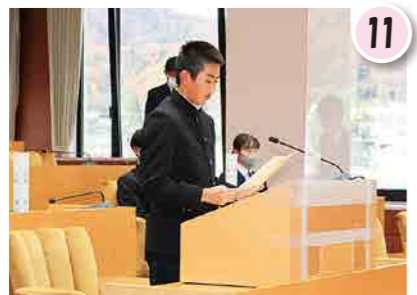


これから出番

ドキドキ



再開!



緊張!!



うまく伝わったかな…



動画を配信して学校でライブ視聴しました。

傍聴席の校長先生



おつかれさまでした!

教育長 講評



学校での学習を通して、しっかりと準備してきた8人と、一緒に学習を積み上げてきた3年生、先生方に感謝いたします。

全体を通して皆さんの提案は、町の執行部にとっても大変勉強になりました。提案された意見をこれからのまちづくりを活かしていきたいと思えます。

皆さんは、自分の生活を支え温かく育んでくれている身近な地域をはじめとするみなかみ町のことについて、中学生の立場から現状や課題について考え、そして、その改善策や町の将来のことを考えた提案をしてくれました。

このことは、思考力や表現力を高め、故郷みなかみへの理解と愛着を深めることに繋がっていると思います。それは、皆さんのたくましく生きる力を育てることに繋がっています。

皆さんにはそのような力を一層高め、将来のみなかみ町を担っていくってほしいと思います。

審議内容及び結果

12月6日から14日までの会期で12月定例議会を開いた。
 発議1件、報告1件、条例23件、その他6件、補正予算3件を審議した。

請願

第1号 猿ヶ京温泉給湯施設の設置及び管理事業条例の改正を求めるもの

賛成 鈴木美香議員

これは猿ヶ京温泉地区再生への第一歩を望む受湯者からの請願。現在、民宿・旅館の廃業等で温泉利用権利が返還され、温泉活用量や管理業務収入が減っている。活用できる湯が捨てられている現状を確認。基準値とされる湯量や法人・個人の利用料金見直しを求めているもの。受湯者が活用しやすい条例に改正することは、猿ヶ京温泉の活性化に繋がる。委員会審議の際、「地域の方から猿ヶ京温泉の魅力を発信したいのもつと湯を使いたい」との声を聞いている」と発言したが伝わらず、また情報が行き届かなかった。条例改正は(案の)全部でなくともよく、条例を現状に合わせ猿ヶ京の住民

第2号 町道悪戸矢瀬線と県道後閑羽場線の交差点に信号機を設置するよう関係機関へ働きかけを求めるもの

賛成 森 健治議員

本請願は交通事故の未然防止及び安心安全な通学路の確保を目的に、町組区議会の総意として提出されたもの。町道開通前から町当局と警察が信号機設置の協議を重ねてきたが、警察の意見は、この場所に設置するには利根商下信号機の撤去が必要とのことだった。しかし、利根商下信号機は児童生徒や区民の安全な横断手段なので、撤去はありえない。新たに信号機を設置するよう要望して欲しい。

委員長・議長は採決に加わりません

件名	陳情人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
陳情第7号 安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書	前橋市本町3-9-10 群馬県医療労働組合連合会 執行委員長 出浦 匠人	総務文教厚生常任委員会 全会一致 趣旨採択すべきもの	全会一致 趣旨採択
陳情第8号 利根商業高校の税理士専門コース新設に関する陳情書	みなかみ町猿ヶ京温泉216番地 みなかみ町を考える会 代表 窪田 金嘉 (ほか9名)	総務文教厚生常任委員会 賛成少数 不採択すべきもの 0:4 (欠席2)	賛成少数 不採択 1:12

(端数処理あり)

総額 166億2901万円	歳入
補正額 5億9426万円	普通交付税(国)……………6651万円
歳出	ふるさと寄附金……………3億円
ふるさと応援基金管理事業……………3億円	その他……………2億2775万円
出産・子育て応援金事業……………1180万円	
その他……………2億8246万円	

請願

件名	請願人	付託委員会及び審査結果	本会議審査結果
請願第1号 みなかみ町猿ヶ京温泉給湯施設の設置及び管理事業の条例改正に関する請願書	みなかみ町猿ヶ京温泉216番地 みなかみ町を考える会 代表 窪田 金嘉	産業観光生活環境常任委員会 全会一致 不採択すべきもの	賛成少数 不採択 2:11
請願第2号 信号機設置に関する請願書	みなかみ町月夜野3274-5 町組区長 田崎 康晴 町組区長代理 中関 実 町組区参事 関 泰廣	総務文教厚生常任委員会 全会一致 採択すべきもの	全会一致 採択

委員長・議長は採決に加わりません

指定管理者の指定

施設名称	指定管理者	指定期間
水上児童館	社会福祉法人 みなかみ町社会福祉協議会	令和5年4月1日～令和8年3月31日
新治学童クラブ	有限会社 遊人舎	令和5年4月1日～令和8年3月31日

12月定例議会議案及び議決結果

議長は採決に加わりません

議案番号	議案内容	議決結果
発議 第8号	議会の個人情報の保護に関する条例の制定 ※個人情報の保護に関する法律の一部改正により制定するもの	全会一致可決
報告 第20号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
議案 第61号	旧一葉亭解体工事(第1期)請負変更契約の締結	
議案 第62号	旧水上中学校校舎改修工事請負変更契約の締結	
議案 第63号	中学校体育館屋根・外壁改修工事請負変更契約の締結	
議案 第64号	職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第65号	職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第66号	職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第67号	職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第68号	公益的法人等へのみなかみ町職員の派遣等に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第69号	外国の地方公共団体の機関等に派遣されるみなかみ町職員の処遇等に関する条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案 第70号	職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第71号	職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第72号	人事行政の運営等の状況の公表に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第73号	職員の寒冷手当支給に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第74号	職員の高齢者部分休業に関する条例の制定	
議案 第75号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第76号	町長、副町長及び教育長の給与並びに旅費に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第77号	議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第78号	町長の給与の特例に関する条例の制定	賛成多数可決 11:1 (欠席1)
議案 第79号	個人情報の保護に関する法律施行条例の制定	
議案 第80号	個人情報保護審査会条例の制定	
議案 第81号	税条例等の一部を改正する条例	
議案 第82号	地域経済牽引事業の促進による地域の成長発展の基盤強化のための固定資産税の課税の特例に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第83号	手数料徴収条例の一部を改正する条例	
議案 第84号	印鑑条例の一部を改正する条例	
議案 第85号	町立学校設置条例の一部を改正する条例	全会一致可決
議案 第86号	スクールバスの設置に関する条例の一部を改正する条例	
議案 第87号	指定管理者の指定(みなかみ町立水上児童館)	
議案 第88号	指定管理者の指定(みなかみ町新治学童クラブ)	
議案 第89号	利根沼田広域市町村圏振興整備組合の規約変更に関する協議	
議案 第90号	一般会計補正予算(第7号)	
議案 第91号	下水道事業特別会計補正予算(第1号)	
議案 第92号	水道事業会計補正予算(第1号)	

11月臨時議会あらまし

11月16日に臨時議会が開催された。報告4件、人事1件、補正1件を審議した。

補正

令和4年度 総額 160億3474万円
補正額 9231万円 (端数処理あり)

歳出

電子地域通貨運営・活用事業
…… 9231万円

歳入

新型コロナウイルス感染症対応地方創生
臨時交付金(国) …… 6884万円
ふるさと応援基金繰入金 …… 2347万円

11月臨時議会議案及び議決結果

議案番号	議案内容	議決結果
報告 第18号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
報告 第19号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
承認 第6号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	全会一致承認
承認 第7号	損害賠償の額の決定及び和解の専決処分報告	
議案 第59号	教育長の任命	全会一致同意
議案 第60号	一般会計補正予算(第6号)	全会一致可決



一般質問とは

議員が町の行財政全般にわたって執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求めるもの。
執行機関の政治姿勢を明らかにし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として、現行の政策を変更、是正させあるいは新規の政策を採用させるなどの目的と効果がある。
定例会のみで行われ、現在、みなかみ町議会での一般質問の時間は、一人50分までとなっている。

事前通告一覧

- 阿部 清** あへ きよし
 - ①町長が取り組む公約、今後の方針
 - ②町民と町長との意見交換会実施は
- 鈴木 美香** すずき みか
 - ①給食費無償化の実現を
 - ②高校生の医療費無償化を
- 石坂 欣也** いしがき きんや
 - ①町長のみなかみ町をよりよくするための考えは
- 小林 洋** こばやし ひろし
 - ①就任にあたり所信表明
 - ②みなかみファンクラブ構想について
 - ③上越新幹線 上毛高原駅名変更取り組み
 - ④副町長人事について
- 星野 宗央** ほしの かずひさ
 - ①ごみ袋料金について
 - ②子育て支援について
 - ③お年寄りの移動対策
- 茂木 法志** もぎ のりゆき
 - ①公約に対する具体的施策は
- 牧田 直己** まきた なおき
 - ①持続可能な行財政運営の取り組み
 - ②町内居住希望者が暮らせる環境づくりへの取り組み
 - ③都市計画道路の完成に向けた取り組み
 - ④子どもの教育環境の充実への取り組み

監査

10月26日 監査委員工事監査



町道 鹿野沢大穴線

町道浅地工貫線道路改良工事、町道鹿野沢大穴線散水消雪施設(北工区)更新工事、旧水上中学校(新たに開校する水上小学校)プール建設工事、保健福祉センター長寿命化改修工事の現地調査を行った。
工事が適法かつ合理的・能率的に行われているか、また、経済的に妥当であるか。施工及び



新たに開校する水上小学校のプール建設工事

管理が適切に行われているか。工事監理・監督は適正に行われているかを重点項目とし、主に関係記録・工事記録写真の閲覧、担当職員等への質問を行い監査した。
特に異状がないこと、また契約に関する問題点がないことを確認した。



阿部 清 議員

ダム湖、清流を活用した観光とは 利根川源流の町を全国に発信

問 町長の考えているダム湖、清流を活用した観光とはどのようなイベントを想定しているのか。

答 町長 現在ある施設や資源を活用し、新たなイベントの企画を通して、利根川源流の町を全国に発信し、町内経済の活性化につなげていきたい。

問 観光振興として釣り大会をあげているが、湖を利用しての釣り大会は、以前から町内の方より提案をいただいている。大会開催の考えは。

答 町長 町内の釣り愛好家の方々に協力をしていただければありがたい。協議を進める中で場所等、課題整理も必要であり、調整しながら一歩一歩進め、釣り大会を通じて、みなかみファンが増える方策

を練っていききたい。

問 林業振興による雇用を進めていくには、安定した仕事や収入がなければ生活も成り立たない。今後どういった方法で雇用の創出を行っていくのか。

答 町長 町で盛んなアウトドア事業者等が、仕事の閑散期に副業的に林業に取り組むことで、新たな雇用の創出に効果を見せている。いろいろな形で年間雇用が創出できるように力を入れていきたい。

問 森林資源を循環させる具体的な取り組みプランとして、木材ステーションの設置があげられている。早期に施設の設置を進めるべきと思うが。

答 町長 今年度より、旧川古ダム建設事務所を木材集積用土場として活用し、地域内の木材循環の推進

に努めたい。

問 高齢者のみの世帯の除雪支援4万円上限は、臨時経済対策の一次的な助成のため、この冬は新たな支援対策が必要。高齢者世帯の福祉除雪体制の整備とは。

答 町長 安心して日常生活を送れる除雪体制の充実を図っていききたい。令和5年度から上限を5万円まで増やし利用しやすい制度にしたい。

問 除雪時の安全対策として、命綱固定アンカー設置費補助金制度を創設していただいた。転落事故を未然に防ぐための安全対策を理解していただくことも必要と思うが。

答 町長 安全対策のガイドブックやチラシを作成して周知を図ってきたい。

町民との意見交換会実施は

問 町民の声を生で聞く機会は必要。意見交換会の開催は。

答 町長 町民の方々の意見を伺うことは、町政を進めていく上で極めて重要なことと認識している。随時、準備が整いしだい、出向いて現場の声に耳を傾ける姿勢を貫きたい。



鈴木 美香 議員

高校生の医療費無償化は 基本的な考えは前向きに検討

問 高校生の医療費無償化に取り組んでいる県内の自治体、及び今後取り組むと表明した自治体は。

答 町民福祉課長 5市町村が中学卒業まで。残り30市町村が入院、通院とも無料となる見込み。

問 中学・高校と、子育て・教育に切れ目のない支援が必要では。

答 町長 子育て支援は18歳までという認識。基本的な考えとしては前向きに検討したい。

す」と掲げていた。目的と具体的な実施計画は。

答 町長 目指しますということですが、やることは断言していません。給食も教育の一環として、段階的支援があつてよい。

問 教育の一環であれば、教育の現場で食べる給食費は無料でよいのではないか。

答 町長 国の学校給食法の改正が必要。財源の問題もある。

問 無料化している自治体がある。

答 町長 自治体として、そことの違いはどこにあるのか。

問 町長なり議会なりの考え方。

問 消費税は増えている。厚生労働省発表、個人が自由に使える金額が20〜30年前と比較して、1世帯当たり年間約50万円以上減。子育て世代に、この町なら安心して産みたい、育てたいと思ってもらえる町にする気は。

答 町長 給食費無償化が子育て支援の全てではない。ほかの応援の仕方というのが当町ならではの支援。

問 当町だけがやっていないというときにはなれば考える、その矛盾は。

答 町長 ほかの自治体が全部やったときには当町だけやらないようなことはしない。困っているお子様とか児童・生徒に寄り添う姿勢こそが大切。

答 町長 いろいろな方法、いろいろな角度から検討していく。

問 今の立場になるために交わした握手や応援のときの若い世代の一人お一人の声を思い出して。

答 町長 無償化しますとは選挙のときは一言も言っていない。目指しますと言っている。段階的な給食費の第3子の無償化は検討。

給食費無償化を

問 町がするかしないかという姿勢の問題。町長選立候補者として「給食費の無償化を目指す



石坂 欣也 議員

町民を元気づけて

町長 笑顔で活気ある町を目指したい

問 私には尊敬する首長がいる。新潟県旧黒川村の伊藤孝二郎元村長。豪雪で有名な村に昭和30年、31歳の村長が誕生した。

昭和41年、42年、集中豪雨により橋も道路も寸断され、人々を一瞬で奈落の底に引きずり込んだ。村民誰ももうこの村は終わりだと悲観したとき、役場のスピーカーから村長の声が聞こえてきた。誰かとの電話の声だった。「助けてください」と後をも引かない必死のものだった。電話の相手は時の農林大臣だった。

村民がこの村ももうおしまいだと思っているときに、一人、村長は今よりよい村をつくと夢を語り続けた。その後、村民一丸となった頑張りにより、以後の黒川村の復興がなされた。



復興後の黒川村(現在は胎内市)は、視察団が今も後を絶たない。阿部町長に町民を元気づけていただければと思う。

答 **町長**

黒川村のお亡くなりになった伊藤先生がおっしゃっているのが「村づくりは人づくり」。ふるさとみなかみづくりも人づくり、そういう思いである。

また「政治とは知識や論評ではなく、いかに実行したかだ」そういう名言を残しておられる伊藤先生、村長職も長くお務めになった。

伊藤先生が感じ取り取りした環境も時代背景も社会情勢も今の時代と違うわけなので、同じことをしろというのも無理があると思う。思いは11月16日に申し上げたように、住みたい、住みたくなる町。そして、町外の人もみなかみ町はいいよね。若者からお年寄りまで、いつも笑顔でにこにこして活気がある。そんな町を目指したい。それは自分一人のできることで



はない。議員各位の皆さんのご指導、ご協力、そして職員の協力も必要。それと何よりも、この町を支えていただいている町民お一人お一人がそういう熱い思いを抱くような、そんなまちづくりを目指していきたいと思う。今言ったようなことが方向性としてのやるべきことと思っ



小林 洋 議員

町長の所信は

町長 愛郷無限が信条

問 町長が述べた所信を要約すると、「愛郷無限を信条に、

住みたい、住みたくなる。住んでよかつたみなかみ町をつくりあげる。そして、みんなが笑顔あふれ、誇りあるふるさと。未来に責任を持ち、輝かしい未来をつくり上げる。その実行のために、町の営業マンとなり、汗をかき、気力・体力・情熱を持ち、先頭に立ち、身を尽くす」とあるが。

答 **町長** そういう思いである。

問 みなかみファンクラブ構想の前身は。

答 **町長** 今の段階では当局と検討中。

上毛高原駅名変更

問 新聞のインタビュー記事に「今の駅名が悪いとは思っていない」「将来的には地名が入るのが当然だというのでも理解できる」「財政負担の問題もある」「周辺自治体と協議がまず先だ」とある。

まず「今の駅名が悪いとは思っていない」「将来的には地名が入るのが当然だ」というのでも理解できる。「財政負担の問題もある」「周辺自治体と協議がまず先だ」とある。

るのが当然だというのでも理解できる」とについては。

答 **町長**

今の駅名が悪いと思っていないというのは、40年経過してきて、定着しているという意味であり、将来的には進学・就職で町を離れて生活している方を思えば、駅名が仮に「みなかみ町」となった場合には、ふるさとを誇れるそんな思いから、将来的には入ってもいいのかなと思う。

問 財政負担について、知恵を絞れば負担が少なくなる方法はあると思うが。

答 **町長** 例えばクラウドファンディングやふるさと納税等も一つの選択肢。

いろいろな方法を考える上で、多少時間が必要。

問 周辺自治体との協議、早く動いてもらいたいが。

答 **町長**

就任して1か月と少し、近隣の首長と会議でお会いしたのは数回程度。高山村と中之条町にも、機会があれば話をつなげていく。スピード感という話は、将来的にはと思っているのですが、2023年北陸新幹線延伸にこだわらず取り組んでいく。

副町長人事

問 どの様に考えているか。

答 **町長** しかるべき時期に適材適所の人事ということを考えており、今の現段階では白紙。





星野 宗央 議員

町長 ごみ袋料金はなぜ高い 負担の公平化とごみの減量促進

問 町の燃えるごみ袋は、1枚70円となっている。なぜこれほどの値段になっているのか。

答 町長 1袋の処理費に対する負担率は約8%となっている。有料化の目的は、排出量に応じ住民負担の公平化を図ると共に、ごみの減量化及び資源化を促進することである。

問 沼田市のゴミ袋を購入して沼田市に捨てる町民がいると聞いているが。

答 町長 町としては把握していない。町民の皆様方に町行政を挙げてご協力を願ひ、ごみの分別化に協力していただきたい。

問 沼田市のゴミ袋を購入して沼田市に捨てる町民がいると聞いているが。

答 町長 今後どのようにごみ減量の取り組みを進めていくのか。

答 町長 給食費の無償化を目指すというところで、原材料費が高くなつたときには、極力保護者の方に負担をかけない形で、いろいろ手当をしていきたい。

仮置きされた可燃ごみは、民間業者により処理する。それぞれのルートによって、滞りなく処理されている。

問 今後、一般業者に余ったごみを出す。その業者名は。

答 町長 生活水道課長 民間委託分については、株式会社ウイズウエイストジャパンと契約。

問 町長の見解と取り組みは。

答 町長 町長の見解と取り組みは。公共交通の充実、町としては、住民登録がある65歳以上の運転免許証を持っていない方を対象



後閑駅北側。歩道に高さがありシニアカーの走行はたいへんです。

問 シニアカーの通行に関して安全対策は。

答 町長 介助者に同行してもらい、注意して運転することが事故防止策だが、同行していただけないのが現実。



茂木 法志 議員

町長 人口減少対策は 子育て支援策を充実

問 ファンクラブ構想における成果目標は。

答 町長 みなかみが好き、応援しますという方を増やす。

問 マルシェ（地元の食、食べる、持ち帰る）は、今あるものを磨き、発掘していくことも含めてと思う。加工場等の考えは。

答 町長 加工場も含めてという考え。いろいろなもので開発できる。これから検討していきたい。

問 体験とはアドベンチャー ツーリズムや新コンテンツ提供の推進ということが想定されるが。

答 町長 まさしくみなかみ町にぴったりに。積極的に町全体でチャンスだと認識し取り組んでいきたい。

問 人口減少対策が一つの大きな課題。具体的対策は。

答 町長 若い世代を呼ぶために、定住促進、生まれてからのサポート、子育て支援策をこれからも充実させていきたい。

問 子ども・子育てに対する予算割合、現状で適正なのか。

答 町長 子ども・子育てに対する予算割合、現状で適正なのか。人口減少対策として予算の割合を増やす考えは。

問 子育て支援は人口減少対策に対する大切な施策の一つ。ふるさと納税を有効に使う形で手当てしていきたい。全体の中でバランスを議論し、よりよい方向を見出したい。

答 町長 養育費の立替え制度は、ドイツ、フランスでは法律化されており、明石市が取り組んでいる。町での検討は。

問 どの程度利用者、申請者がいるか、そういうご家庭があるかよく調査して見る必要がある。

答 町長 町長の公約に、必要な所を中心にバリアフリー化を進めるとあるが。

問 町長が寄り添う姿勢の一つと

答 町長 やるべきことと認識している。それが寄り添う姿勢の一つと

問 バリアフリー化も当たり前にしていくべきだという答

答 町長 町が取り組んでいる重層的支援体制、インクルーシブの社会の実現、これからの進め方は。

*注1 インクルーシブ 「あらゆる人が孤立したり、排除されないよう支援し、社会の構成員として包み、支えあう」という社会政策の理念を表している。

<p>①排除</p> <p>少数者を多数者の集団から外す考え</p>	<p>②分離</p> <p>多数者と少数者を別々にする考え方</p>
<p>③統合</p> <p>多数者と少数者が分かれた状態で同じ環境にいる</p>	<p>④共生</p> <p>障害の有無、性別、年齢国籍などに関係なくお互いに支え合いながら誰もが暮らしやすい町をつくる</p>

答 町長 福祉まるごとサポートセンター（仮）を役場庁舎内に設置。高齢者、障害者、子供、生活困窮といった相談内容、種類にかかわらず包括的に相談を受けとめ、複雑化・複合化した事例についてセンターが調整役となり、関係機関と連携して支援を行っていく。



牧田 直己 議員

定住促進賃貸住宅建設助成は 制度設計中

問 以前より北海道^{かみしほろちよう}上士幌町の定住促進賃貸住宅建設助成事業の取り組みを提案してきたが、進捗状況は。

答 町長 現在制度設計中。民間事業者に建設費の一部を助成することで、賃貸住宅の建設の促進に繋がる。遊休町有地の活用も併せて検討している。

都市計画道路完成へ

問 開通に向けた今後の展開は。

答 町長 やはり17号に繋がることで利便性の向上や経済効果が生まれる。早急に完成しなければならぬ。令和5年度から地元説明を行う予定。

教育環境の充実は

問 県の調査によれば、令和3年度に不登校だった児童・生徒数は前年比より31・4%も増えているが、当町は。

答 教育長 当町もほぼ同じ割合で増えている。町長は所信表明にて不登校児童・生徒における支援の必要性をうたっていた。今後の支援に対するビジョンは。

問 町長は所信表明にて不登校児童・生徒における支援の必要性をうたっていた。今後の支援に対するビジョンは。

答 町長 学校の先生は業務が多忙で社会問題化している。学校外での支援の充実が本場に大切。

問 教育版の地域おこし協力隊制度がある。3年後に教育に携わる産業で起業していただける可能性があり、子ども達の居場所づくりに期待できる制度では。

答 教育長 子どもの新しい居場所づくりに繋がるならよいこと。まだ実際のイメージは持っていない。

問 子どもの居場所づくりを地域おこし協力隊に協力をいただく考えは。

答 町長 いろいろなやり方を含め検討する余地はある。

持続可能な行財政運営

問 財政調整基金は平成28年に40億円あったが令和2年に27億円まで落ち込んでいる。現在、財政調整基金が財源不足を補うための基金になっているが見解は。

答 町長 当基金については予期しない歳入の減少に備えるためのもの。なお一層の行政改革に取り組

んでいかなければいけない。

問 当町の人口構造を踏まえるのと、社会保障や公共施設等の維持経費の増加が見込まれるが対策は。

答 町長 公共施設等の統廃合による維持経費の削減が課題になる。自主財源確保のために町税の収納強化も緊張感をもって取り組みたい。

問 合併後の税収は40億円あったが、令和3年は28億円まで減少している。対策は。

答 町長 基幹産業を大事に地産地消の推進、6次産業化、また海外輸出を含めた販路拡大へ支援をし、税収へ繋げたい。首都圏からの交通の便がよいので、ヘルスツーリズム推進や温泉地の魅力づくりによる賑わい創出に取り組みたい。

活動報告

産業観光
生活環境
常任委員会
11月7日管内視察

新たな構成メンバーとして各事業の現状把握のため、管内視察を行った。

荒廃地や遊休農地の利活用として真沢地区にて試験的に桐を植栽することで、最適土地利用計画を進め、鳥獣被害の減少を計る取り組みや、水紀行館と清流公園をひとつのエリアとして、人々が水辺に親しみやすい空間を整備し、観光振興を図る事業を進めている。他にも今後のごみ処理や有機農業を進める取り組みなど、視察を通して現状把握と今後の課題などを考える機会となった。



かわまち事業により改修が進む親水公園

活動報告

総務文教
厚生常任
委員会
11月11日管内視察

みなかみ中学校体育館の屋根・外壁工事と、来年度より新たに開校される水上小学校（旧水上中学校）のプール建設工事の進捗状況を確認するため、現地視察を行った。

細部にわたり工事の状況を確認することができ、両校ともよりよい学習環境のための万全な対策が図られていると感じた。児童・生徒がもっと元気いっぱいに学べる学習環境に繋がるよう、委員会としてしっかりと尽力したい。



水上小学校移転に向け建設されるプール

群馬県町村議会議員研修会

場所 吉岡町文化センター

11月1日、議員全員が参加し「議員報酬・政務活動費の充実に向けた論点と手続き」「気象変動・異常気象とこれからの防災・減災対策」について学んだ。



議会広報研修会

場所 群馬県市町村会館

11月24日、議会だより編集特別委員会委員が「住民に読まれ伝わり、議会の見える化へ」と題した講演を聴き、議会広報の基本と編集について学んだ。より分かりやすい編集に努めていきたい。





11月17日、〇〇〇議会が開催されました。〇〇〇は？

- Ⓐ 小学生 Ⓑ 中学生 Ⓒ 高校生

前回の議会日より72号ふるさとクイズの正解は「Ⓐ14人」でした。

★この頁は町民皆様にご参加いただく頁です。以下を参考にふるってご参加下さい。★正解者には抽選で若干名様に粗品を進呈いたします。

参加のきまり

下のハガキまたは、裏面のFAX用紙などに、クイズの答え・住所・氏名・議会だよりの感想を記入し、お送りください。※下のハガキは、裏面を記入後に必ずのり付けをして投函ください。

〒379-1393 群馬県利根郡みなかみ町後閑318 みなかみ議会だより「クイズ・感想」係 締切：2023年2月28日(当日消印有効) ※当選者の発表は、商品の発送をもってかえさせていただきます。

3791390

群馬県利根郡みなかみ町後閑318

みなかみ議会だより 「クイズ・感想」係

沼田局承認 865 差出有効期間 令和5年3月31日まで (切手不要)

記入欄は裏面にあります



湯松曹川から

議会傍聴のご案内

規則を守り傍聴してください

……… 流れ ………

- ①受付にて「受付表記入(住所・電話番号・氏名・年齢)」
②受付表を係に渡して「傍聴カード」を受け取る
③傍聴席へ
④帰りに「傍聴カード」を返却箱へ入れて終了
※注意/飲食・録画・録音・写真撮影は禁止

今回の定例会は

3月8日(水)～ 3月17日(金)の予定

場所：役場本庁舎3階議場

時間：開会は9時

席数：34席

【問合せ先】議会事務局

☎25-5023

議会だより編集特別委員会

委員長…鈴木 美香

副委員長…星野 宗央

委員…江口 樹

石坂 欣也

阿部 清

編集アドバイザー

利根川太郎

編集モニター

利根商業高等学校生徒

今年も雪の季節が来ましたが、雪は町にとって無くてはならないものですが、降る場所降る量を調節できるわけはありません。除雪時の安全対策を行ってけがのないように取り組みたいものです。
今回の議会だよりは、新しい議会構成になってから初めての定例議会の報告になります。中学生議会の特集も載っています。定例会では、7人の一般質問が行われました。議会だよりの特別委員会が5人体制となって編集作業が大変なっていますが、町民の皆様に興味を持って読んでいただけるような内容になるように取り組んでまいります。
議会だよりに対しての住民の皆さんの意見が寄せられています。皆さんの感想や意見が寄せられ、より良い紙面づくりに生かしてまいります。委員長を先頭に委員一丸となって取り組んでまいります。(星野宗央)

編集後記

よせられた感想

議員の挨拶でどなたも色々な考えを文章にしています。もう少し現実に近い話があったらと思 (後閑)

陳情・請願及び議案に対する議員の賛否を、一覧表にして議会だよりに掲載してください。(永井)

虚礼廃止にご協力を

議員は公職選挙法により、下記の行為は禁止されています。また、町民の皆様が議員に寄付を求めるとも禁止されています。趣旨をご理解のうえ、ご協力をお願いします。



感想

皆さんの
感想

ハガキの方は、この線で切り取り

内側へ貼り合わせて投函してください。

← FAXの方は、この線で切り取ってご利用下さい。

FAX番号 0278-25-8127



○クイズの答え ⇒ _____

○差出人住所 ⇒ 〒 _____

(ふりがな)
○差出人氏名 ⇒ _____○年 代 ⇒ ・ ~10代 ・ 20代 ・ 30代
(該当項目に○印を
付けてください) ・ 40代 ・ 50代 ・ 60代
・ 70代 ・ 80代~

谷-折-り-線

○議会だよりの感想

のりしろ

のりしろ

のりしろ